

令和5年度 第2回藤沢型地域包括ケアシステム推進会議 議事要旨

I. 開催概要

1. 開催日時 2023年（令和5年）10月11日（水）
午後4時30分～午後6時30分

2. 開催場所 藤沢市役所分庁舎8階 8-1・8-2会議室

3. 出席者

委員＝24人（敬称略）

・会場出席者

佐藤 繁、川原田 武、大野 貞彦、戸高 洋充、吉田 展章、
道端 薫、山本 智子、平井 護、小林 邦芳、大島 崇弘、
市川 勤、川村 哲、鈴木 正貴、横川 敬久

・オンライン出席者

石井 由佳、澁谷 晴子、櫻井 康則、秋山 美紀、
浅見 佳代子、竹村 裕幸、西山 千秋、横川 敬久

4. 議題等

1 開会

2 議題

(1) 藤沢型地域包括ケアシステムの取組状況について

<資料1>令和5年度藤沢型地域包括ケアシステム スケジュール

<資料2>令和5年度庁内検討委員会・分科会等の状況について

(2) 委員の取組・情報交換について

<資料3>藤沢型地域包括ケアシステム推進会議の展開について

<資料4>取組・情報交換シート（まとめ）

(3) その他

<資料5>福祉関連計画のパブリックコメント実施について

3 閉会

II. 会議の概要（議事要旨）

1 開会

地域共生社会推進室玉井室長の司会進行のもと、事務局から欠席・遅参委員及び資料確認等をし、その後、小林代表の挨拶を受け、議事に入った。

2 議題

議題（1）藤沢型地域包括ケアシステム 分科会等の取組状況について

「資料1～2にもとづいて、事務局より説明」

「質疑応答なし」

議題（2）委員の取組・情報交換について

「資料3にもとづいて、事務局より説明」

「質疑応答なし」

「資料4意見シートを基に、大島委員より説明」

○市川委員

私も以前に行きつけの薬局を作ったほうが良いと話を聞いて、友達関係にもなるぐらいの薬剤師に現在関わってもらっています。まちかど講演会は、依頼があった地域の薬剤師が来るのでしょうか。

○大島委員

まちかど講演については、FAXでの申し込み依頼になります。13地区ごとに地域ケア会議を実施しており、それぞれに薬剤師が配置されています。その地区の地域ケア会議に出席している担当薬剤師に連絡があり、対応する流れになっております。

今後は、地区の担当薬剤師だけでなく薬剤師でも対応できるように進めていきたいと薬剤師会として考えております。健康づくり課との取組については、地域ケア会議に参加していない薬剤師にも声掛けをしております。そのように少しずつ活動を広めていきたいと思っております。

○川原田委員

講演依頼する際に費用はかかるのでしょうか。

○大島委員

基本的に無料になります。日程等については事前に調整をさせていただければ幸いです。

○大野委員

まちかど講演については、老人クラブも基本的には対象になると思いますが、薬のことについては、市老連全体で会員がどのように思っているのかを把握しておりません。薬に関する課題感を会員にどのように問うべきか。どこまで支援してくれるのでしょうか。

○大島委員

現在、老人クラブからの申し込みもあります。藤沢市薬剤師会ホームページから依頼書はダウンロード可能です。あまり難しく考えずに申し込みしていただければと思います。ここに該当していないことでも相談していただければと思います。

○大野委員

毎月地区の老人クラブの会長が集まり、会議を実施しています。そこでは、企業等に取組等をPRしてもらったりしています。今回の講演会に関することもPRしてもらうことは可能でしょうか。

○大島委員

もちろん可能です。そういった機会をいただけると幸いです。

《資料4意見シートを基に、川村委員より説明》

○市川委員

高齢者のボウリング大会の人数や頻度について、障がい者支援施設の方で参加されるのは、障がいのある方なのでしょうか。

○川村委員

高齢者ということではなく、地区社協の事業で実施しております。協力委員や、部会委員で運営委員30名程度になります。今回参加される、障がい者支援施設に来られる方は様々な障がいがあります。どういった障がいをお持ちかは細かく聞くのではなく、一緒にボウリングを楽しむために何ができるかを考えている。その中で、大きい音が苦手な人にどうしたらよいか等を考えながら実施したいと思っています。

○榎本委員

藤沢市歯科医師会でも、障がい者歯科を40年以上実施しております。歯科診療を受ける障がい者もすごく大変であったりします。ボウリングは一緒に楽しくできると良いなと思います。一方で急に体調が優れなくなってしまう方もいるかもしれません。様々な対応への準備が必要だと思います。実施してみてどうだったかを、こちらにもフィードバックしていただけると幸いです。

○大野委員

自分たちの小さいクラブでの取組では、月1回に百人一首を実施する会があります。そこに認知症の症状がある方が参加し、症状が進行している人でありましたが、百人一首に参加している時は、思い出したかのように実施していました。

もう一つはカラオケを実施しており、娘の名前を忘れたような方がカラオケで好きな歌の名前を憶えており、実施していました。好きなことをすることでその後の私生活も明るくなったと聞いています。そういった趣味活動をすることで暮らしが良くなるのだと知ることができました。

○秋山委員

高齢者だけでなく、障がい者、学生にも声かけができると良いと思います。そうな

ると地域共生社会に近づくのではないかと思います。

「資料4 意見シートを基に、浅見委員より説明」

○事務局

ヤングケアラー通訳派遣事業について、神奈川県から通訳派遣が無料でできます。ただし、行政や医療機関に限定されていて、必ず行政機関を通すことになっていきます。役所で面談を実施し、職員に同席をしてもらう等として、行政と連携することで、県に依頼をする等して対応をしていければと思います。何かあれば、事務局にも相談をしていただければと思います。

○櫻井委員

通訳派遣に関しては、お金がかかるという話だったと思いますが、具体的に金額がかかるのでしょうか。

○浅見委員

金額までは調べてみないと分かりません。通訳を呼ぶことにお金がかかるといわれました。通訳を呼ぶ人にお金を請求することになると聞いております。

○事務局

ヤングケアラー通訳派遣事業については、限定的な事業になりますが、利用料は無料。他に、神奈川県では、例えば、医療通訳に関して、1件2時間当たり3000円で実施と案内がありました。

また、本室では、デジタルデバインドや高齢者の生きがいづくりの取組として「Sail」というアプリを活用したコミュニケーションツールを進める取組をしております。このアプリは外国人と日本語で話すアプリになります。直接的支援ではないが、アプリを活用し、日本語を学ぶことができると思います。そういったアプリがあるという情報提供になります。

「資料4 意見シートを基に、西山委員より説明」

○横川委員

ヤングケアラーに遭遇したことはあります。日頃成人に近い年齢までの身体の不自由な方を対象にした事業所にいます。そこで障がい児を支える兄弟と接することがあり、その兄弟と一緒に生活することで、いわゆるヤングケアラーのように小さい時から兄弟を支えてきたということを聞きます。

ただ、どんな実体験をしたかによって、周りから声をかけられれば助かるといったこともあると思います。なので、自分たちは施設のイベントをそこに通う当事者だけでなく当事者の兄弟等も楽しめられることにも重きを置いております。特に小さい子供たちは一緒になって遊んでいます。障がいに限らず、みんなにクローズアップしてもらおうような取組を考えている。そういった取組を通してヤングケアラーに関する課題への取組をしています。

○戸高委員

家族会の中で、きょうだいは親とは違うという意見が多かった。一緒に生活する中

できょうだいに関わることが多いことから、きょうだい会がある。そういう場を通して支えている家族やきょうだいから話を聞くことができるのではないのでしょうか。

また、神奈川県等で実施しているヤングケアラー研修では、当事者を呼ぶこともあるので確認してみると良いと思います。

○秋山委員

慶應大学で若者達がケアを担う方について考えるイベントを実施予定です。参考までに周知させていただきます。

《資料4 意見シートを基に、山本委員より説明》

○事務局

虐待は、高校生であれば、児童虐待の対象になる。「189」に電話することで児童相談所にかかります。電話するハードルが高いのであれば子ども家庭課への相談も一つの方法になります。相談を受けたのが友達や、親であったとしても、不確かな情報でも声掛けをすることが大切で、行政としては、お問合せフォーム等で案内等もしており、よりわかりやすい周知を心がけています。保護施設もあるが、直ぐに保護ではなく、まずは当事者の情報を把握し、緊急等の場合などに施設を案内するようになるのではないかと考えております。

○小林委員

市外からの移住者が若い人も増えていると思うが問題としてどうでしょうか。

○事務局

様々な相談口があると良いと思います。子育ての居場所として、子育て支援センターが市内に4か所ありますが、親子が交流でき、そこで遊んでもらい、そこでちょっとした困りごとを職員に相談してもらい、そういった居場所づくりが一つ大事だと考えます。

ヤングケアラーにも通じますが、悩みを抱えている人の周りの人が親身になって対応することが大切だと思います。お母さんの孤立も周りの人が親身になって支える体制整備が必要だと思います。地域包括ケアの課題の一つでもあると思います。

○小林委員

ほかにありますか。

○事務局

今回は意見シートを通じて、どうだったかを提出していただいた委員から話をきければと思います。感想を含めてお願いします。

○横川委員

本日の意見シートを出せていなかったのも、意見を出し合うのは非常に良かったと思います。忘れやすい委員もいると思うので、リマインドをしていただければと思います。こういった場を引き続き実施するのであれば、ぜひ出していただければと思います。

議題（３）その他

「資料５にもとづいて、事務局より説明」

「質疑応答なし」

３ 閉会

地域共生社会推進室玉井室長のもと、次回日程をお伝えし、閉会。

【次回開催日程について】

２０２４年（令和６年）１月１０日（水）午後４時３０分から

以 上